

福知山市保幼小中一貫・連携教育推進計画

《概要版》

シームレス学園構想

◆本市のめざす子ども

「知・徳・体」のバランスのとれた子ども

ふるさとを愛する子

《郷土愛》 人や郷土の文化・伝統を大切にする子

くふうする子

《創意工夫》 自ら課題を見付け、もっとよい方法はないかと工夫する子

ちえをみがく子

《探究心》 ものごとを深く考え、真理を追究する子

やさしさと思いやりのある子

《まごころ》 自分を大切にし、友達も大切にできる子

まじめにがんばる元気な子

《向上心》 希望へ向けて努力し、すこやかに成長する子

◆教育をめぐる状況

課題

- 小中学校の教師の指導観や学力観の相違
- 小学校入学直後、学習スタイルや集団になじめない子の増加
- 第二次性徴の早期出現など心身発達上の課題
- 中学校入学後の不登校の増加や学習意欲の低下



保幼小中学校の切れ目のない教育が必要

◆小中一貫・連携教育の進め方



①カリキュラムの接続

- ・各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間について9年間を見通した教育課程の作成
- ・中学校区内の課題（生徒指導、人権教育、キャリア教育等）解決を図る一貫計画の作成
- ・小学校5・6年生における一部教科担任制の実施

②教師間の交流と指導観の共有

- ・テーマに沿った合同研修会の実施
- ・授業を通じた指導観の違いの克服による学びの連続性の確保
- ・小中連携加配等を活用した相互乗り入れ授業、出前授業等の実施

③児童・生徒間の交流による人間関係形成力の育成

- ・中学校区内小学校間の合同行事、合同授業等小小連携の推進
- ・小中合同行事（運動会、体育祭、文化祭、合唱コンクール等）の実施
- ・小学校での中学生職場体験（算数等の指導補助）の実施
- ・中学生による部活動や中学校生活紹介の実施
- ・小中合同学習（音楽、図工、美術、体育、総合、特活等）の実施

④家庭・地域社会との連携

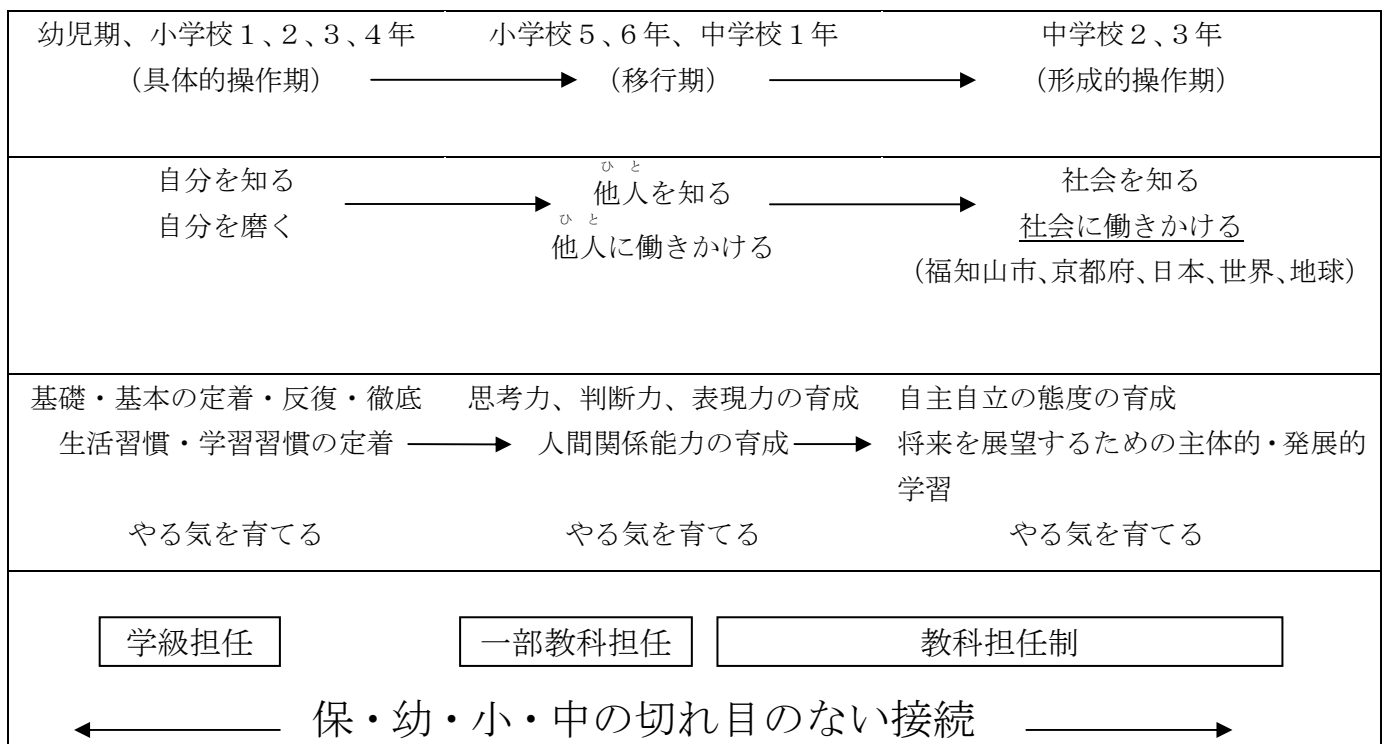
- ・小中一貫した生活習慣、学習習慣定着のためのパンフレット等の作成・配布
- ・小中学校行事カレンダーの作成・配布
- ・あいさつ運動、パトロール等の協働実施
- ・合同地域行事（地域クリーン活動、地域文化祭等）への児童生徒の参加・交流
- ・学校支援地域本部事業の実施

◆福知山市における「小中一貫・連携教育の観点」



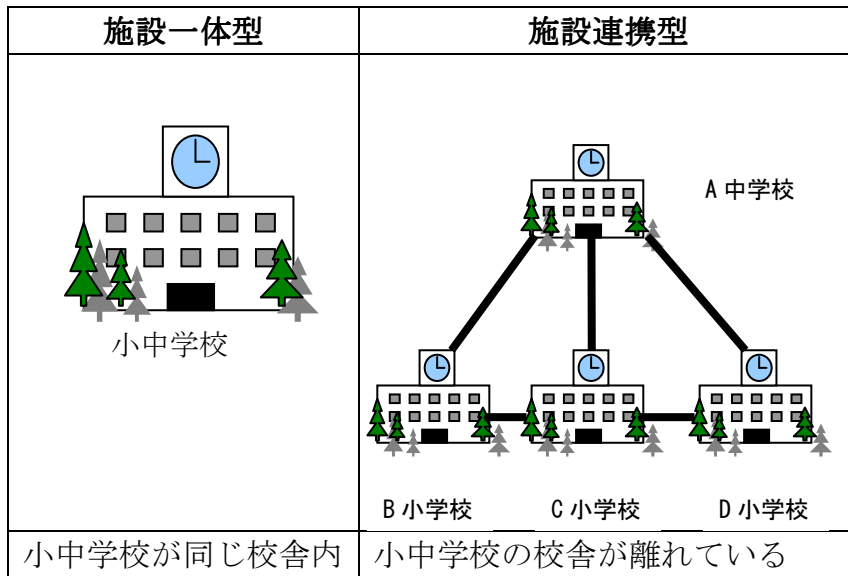
- ① 中学校区の地域コミュニティでの合同の活動
- ② 小中合同の教育活動の実施
- ③ 連携カリキュラムづくりの実施
- ④ 小中学校間の教職員の交流や兼務等の人事上の工夫
- ⑤ 中学校の新1年生担当教員として必要な資質を考慮した教員の配置の工夫
- ⑥ 小学校高学年において部分的に教科担任制を取り入れる工夫
- ⑦ 小学校高学年を対象とする中学校への体験入学の実施
- ⑧ 学校や学年の開始時期における集中的なオリエンテーションの実施
- ⑨ 小規模小学校から中学校へ入学した者への入学時の学級編制上の配慮

◆小中一貫・連携教育のイメージ図



◆ 基本的方針

<小中一貫・連携教育の形態>



- ・基本的には、施設連携型で進める
- ・地域の実態や課題等に応じて施設一体型も考慮

◆ 実現に向けた3つの軸

- ①小中学校教職員の連携体制の構築
- ②9年間を見通した教育課程の編成
- ③小中一貫・連携教育指定校の指定



◆ 保幼小の滑らかな接続

- ①保幼小の子どもとの交流
- ②保育士・幼稚園教員と小学校教員の連携
- ③保護者との連携